

高音質ステレオパワーアンプ組立キット WP-SSA40W

組立説明書 ver.1.1



■主な仕様

- ・電源電圧 AC100V(50/60Hz)
- ・出力 20W+20W(8Ω 負荷 1kHz THD1.0%)
- ・入力 ラインレベル
入力インピーダンス 10kΩ
- ・外径寸法 幅 230mm 高さ 70mm 奥行 230mm
(突起部は含まず)
- ・重量 3.1Kg

■必要な工具

- ・ハンダこて
- ・ニッパー
- ・ピンセット
- ・マイナスドライバー(刃幅3mm)
- ・ハンダこて台
- ・ワイヤーストリッパー
- ・プラスドライバー(1番)(2番)

■お断り

- ・本製品は組立キットです。作業中の安全確保のため説明書をよくお読みになり、正しい工具の使用・手順を守ってください。
- ・完成品でない製品の性格上、組み立て後にお客様が期待される性能・品質・安全運用等の保証はできません。完成後はお客様(組立作業)ご自身の責任のもとでご使用ください。
- ・本製品は機器への組込み他、工業製品としての使用を想定した設計は行っておりません。また本製品に起因する直接、間接の損害につきましての補償には応じられません。
- ・本製品の組立サポート(組立代行)は承っておりません。
- ・配線ミスによる故障、動作不良に関しては有償修理となります。電源を入れる前に配線間違いがないか入念にチェックしてください。テスターをお持ちの方は正しい電圧が出ているかチェックしてください。
- ・各基板やパーツ類は個別販売しておりますのでお客様ご自身で交換修理も可能です。

販売元：共立電子産業株式会社 共立プロダクツ事業所

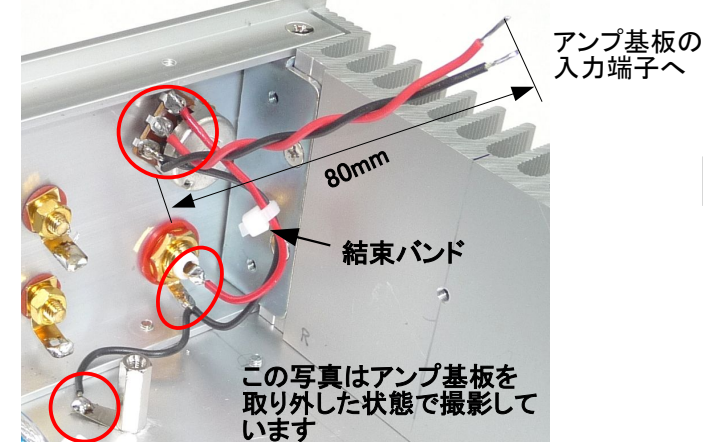
〒556-0005 大阪市浪速区日本橋5-8-26
TEL 06-6644-4447 FAX 06-6644-4448

●配線をします

- ・慣れておられる方は自分流の配線をお楽しみください
- ・裏ページの「全体配線図」を参考にしてください
- ・初心者の方は、この説明書に従って作業していただきますと間違いなく完成させることができますと思います

①「RCAジャック」と「ボリューム」まわりの配線をします

①-1 まず最初に(R)側の配線をします



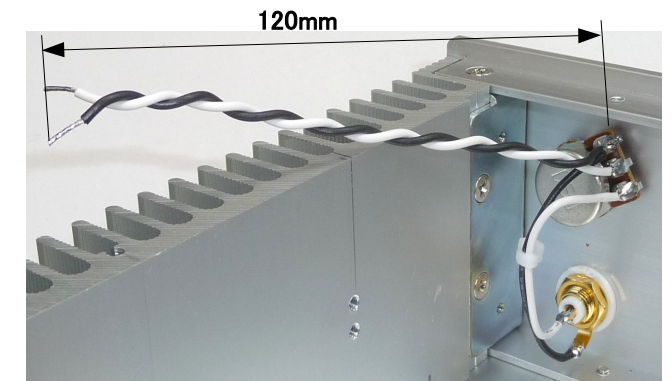
*ハンダ付けのしかたや、ネジ端子との接続のしかたにつきましては次ページをご覧ください

*狭いところのハンダ付けに自信のない方は、アンプ基板を取り外してから作業してください
そのときは、ネジやワッシャー類の位置を覚えておき、ハンダ付け終了後は間違いなくアンプ基板を元通りに取り付けてください

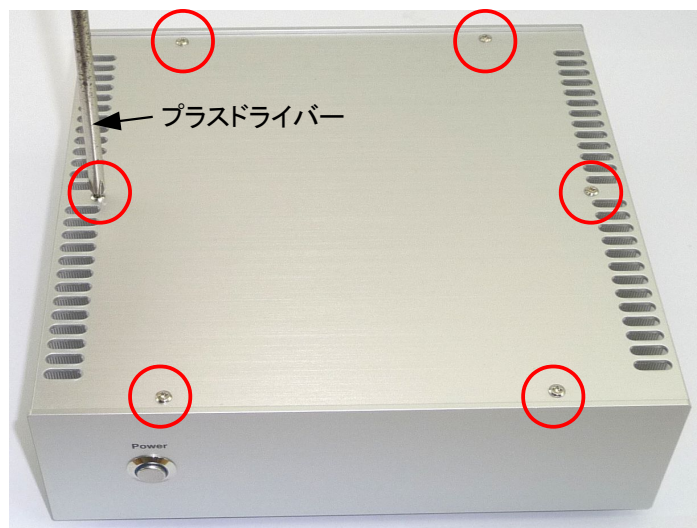
①-2 「ボリューム」⇄「アンプ基板」の配線をします



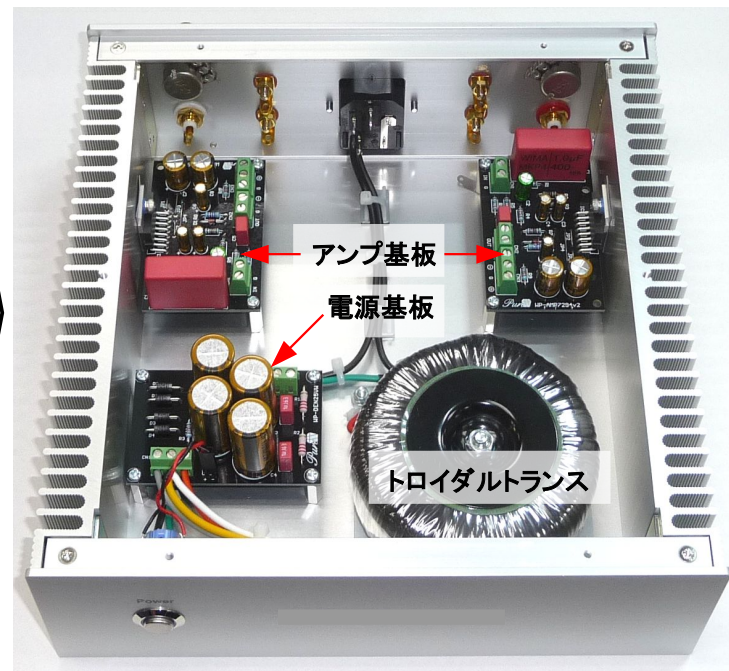
①-3 次に(L)側の「RCAジャック」と「ボリューム」まわりの配線をします 作業要領は(R)側と同じです



●アンプキット本体内部と付属パーツの確認をします

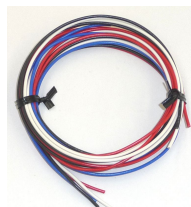


トップパネル(天板)のネジ(6本)を外します



すべてのパーツは取り付け済みです

付属パーツは下記4点です



ビニル被覆電線
(白)・・・1m
(赤)・・・1m
(青)・・・1m
(黒)・・・1.5m



スピーカー配線用
ビニル被覆電線
・・・0.5m



結束バンド・・・6本



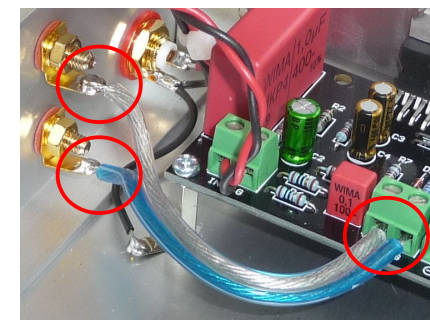
電源ケーブル
・・・1本

①-4 (L)側の「ボリューム」⇄「アンプ基板」の配線をします



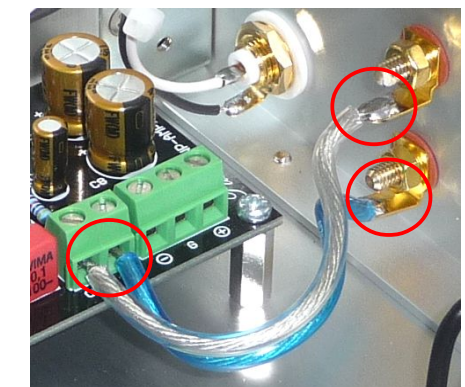
② スピーカー出力まわりの配線をします

②-1 まず(R)側の配線をします



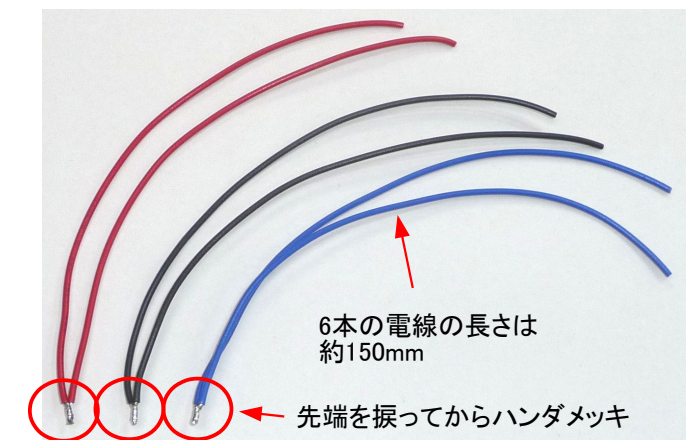
スピーカー配線用
ビニル被覆電線を使用
します

②-2 次に(L)側の配線をします

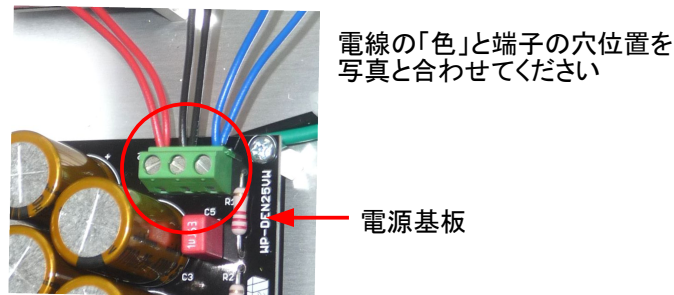


③ DC電源まわりの配線をします

③-1 「赤」「青」「黒」の電線(各2本)を約150mmの長さにカットして先端の被覆を約7mmはがしてから振りあわせてハンダメッキしておきます



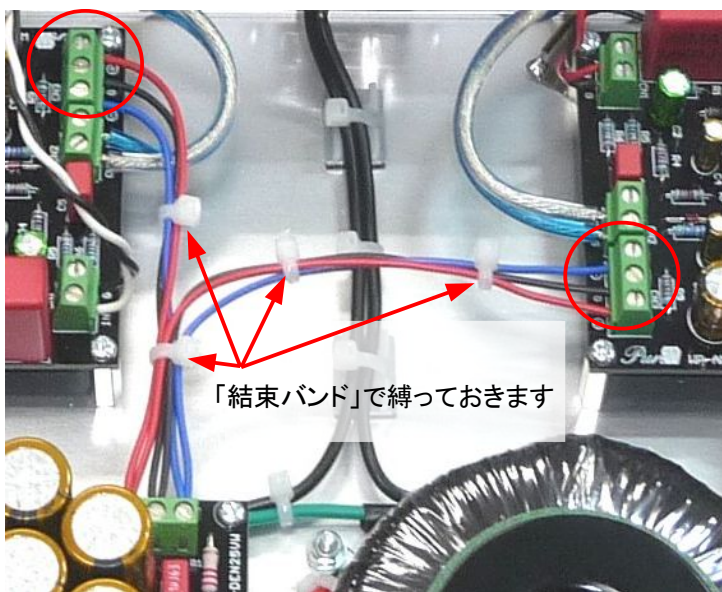
③-2 電源基板の端子に3色の電線を接続します



電線の「色」と端子の穴位置を写真と合わせてください

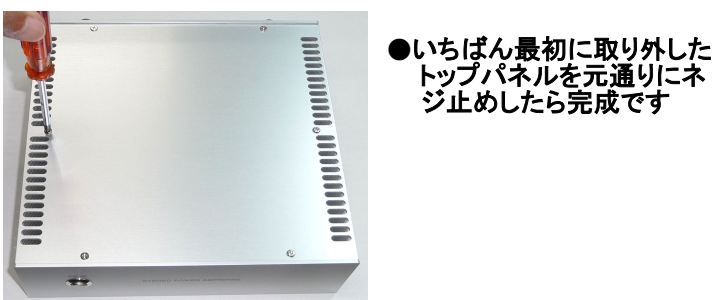
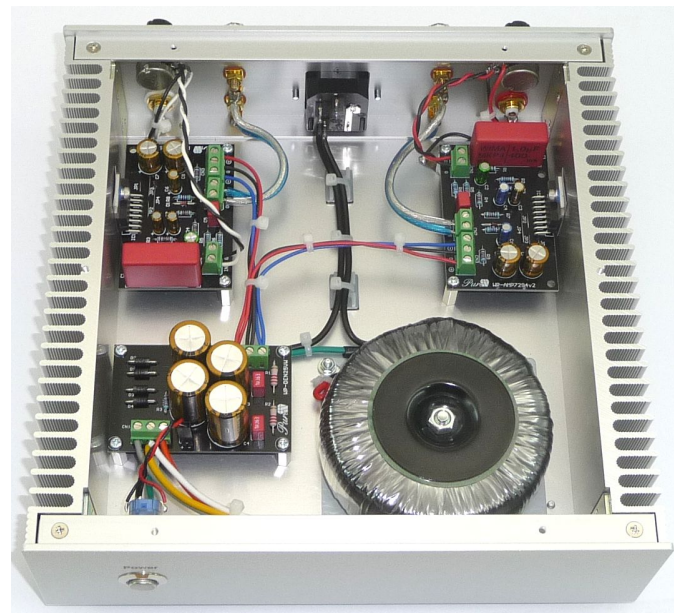
電源基板

③-3 (R)側と(L)側のアンプ基板に配線します



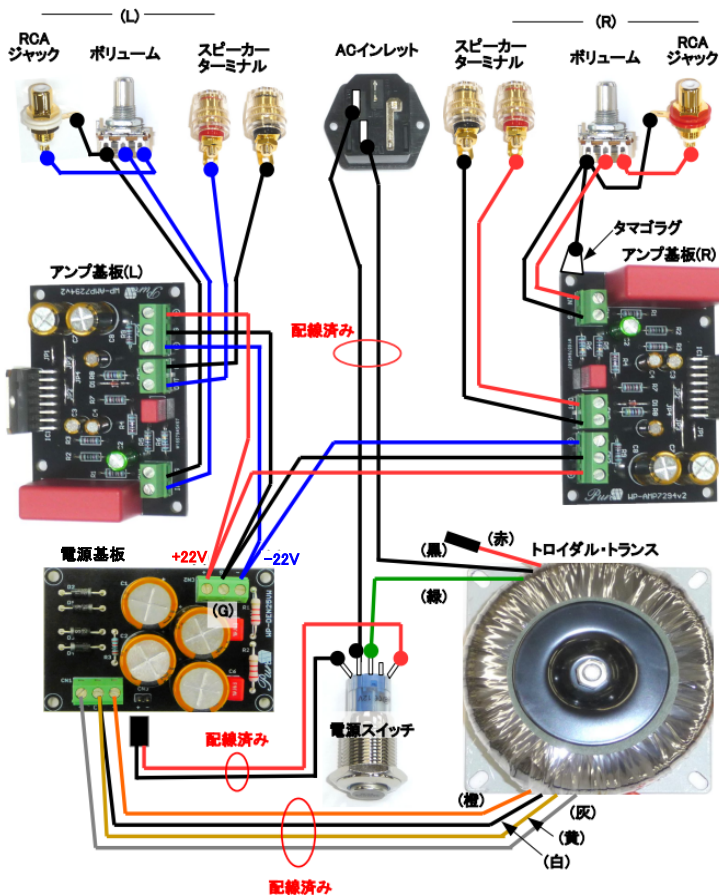
「結束バンド」で縛っておきます

●これで配線作業は終了です。
電源を入れる前に、配線間違いがないか、「全体配線図」と照らし合わせて何度も確認してください



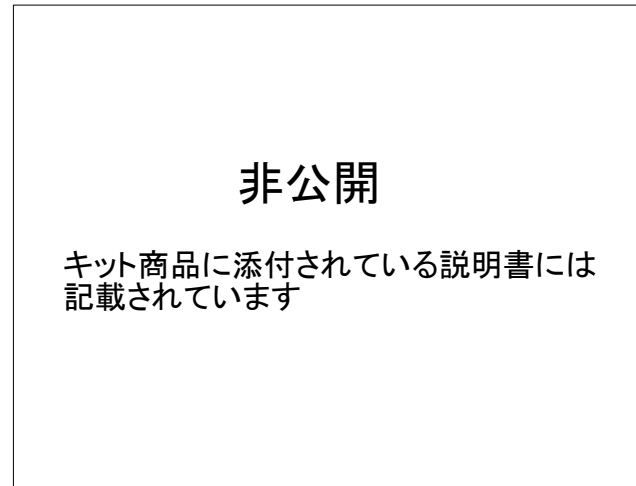
●いちばん最初に取り外した
トップパネルを元通りにネジ止めしたら完成です

●全体配線図



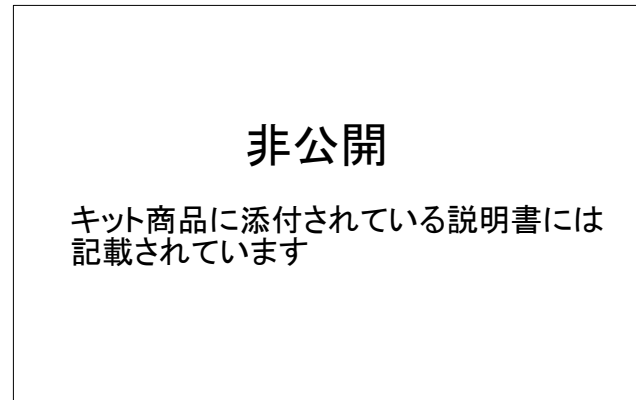
テスターをお持ちの方は電源電圧が正しいか確認してください

●アンプ基板の回路図



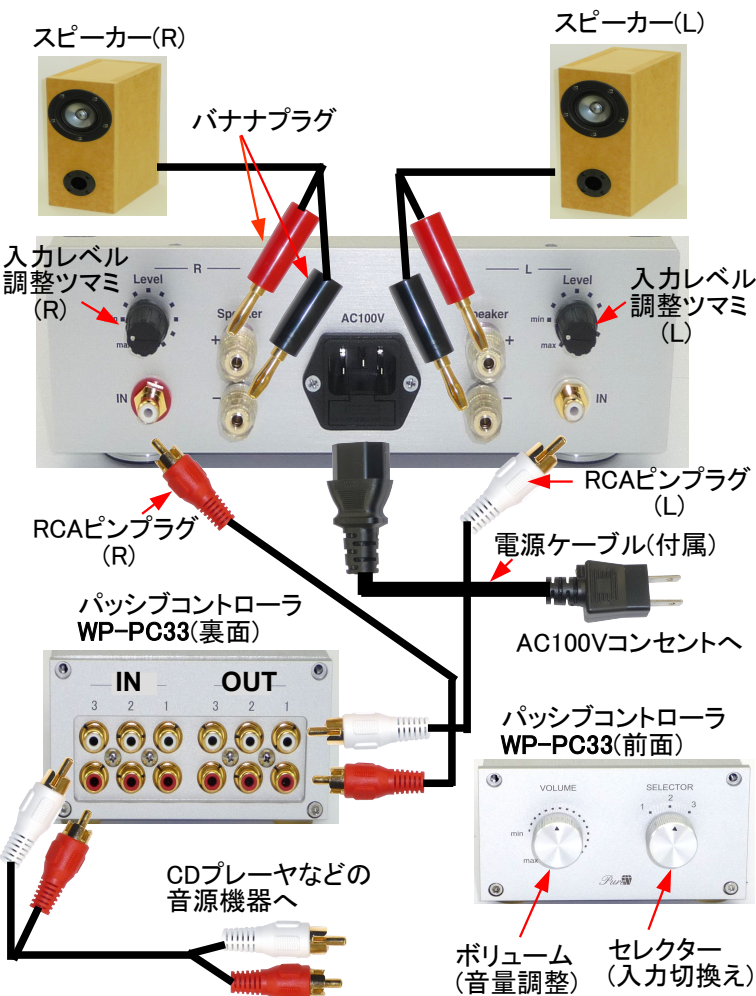
キット商品に添付されている説明書には記載されています

●電源基板の回路図



キット商品に添付されている説明書には記載されています

●他の機器との接続のしかた



*本機は本格的なパワーアンプとして設計されておりますので、入力切換え機能および音量調整機能は装備しておりません「プリアンプ」もしくは「パッシブコントローラ」と組み合わせてご使用いただくことが前提になっています

*入力レベル調整ツマミは時計方向に回しきっておきます(プリアンプもしくはパッシブコントローラに接続した後で)(R)(L)の音量調整はプリアンプもしくはパッシブコントローラで行います(R)(L)の音量差が気になるときは音量が大きい方のツマミを反時計方向に回してバランスを合わせます

●フロントパネルの操作



電源スイッチ...ボタンを押すと「ON」もう一度押すと「OFF」

●バナナプラグを使用せずにスピーカーケーブルを直接接続するとき



スピーカーケーブルの先端の被覆を約15mmはがします
スピーカーターミナルを反時計方向に回すと取付穴が現れますので、そこにケーブルの先端を通します
スピーカーターミナルを時計方向に回し、しっかり締め付けて固定します

●ハンダ付けのしかた (スピーカーターミナルへの配線例)

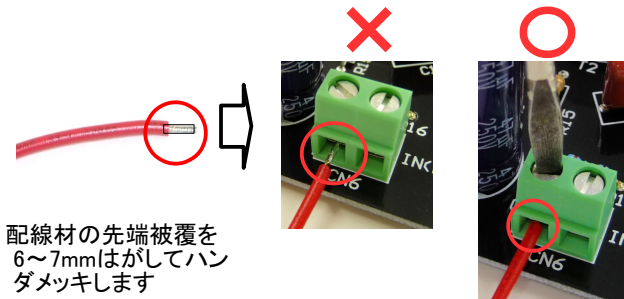


電線の先端被覆を約5mmはがしてハンダメッキ(予備ハンダ)をしておきます

相手側の端子にもハンダメッキをしておきます

端子の上に電線を乗せて、その上からハンダゴテを当てて熱を加え、溶着させます

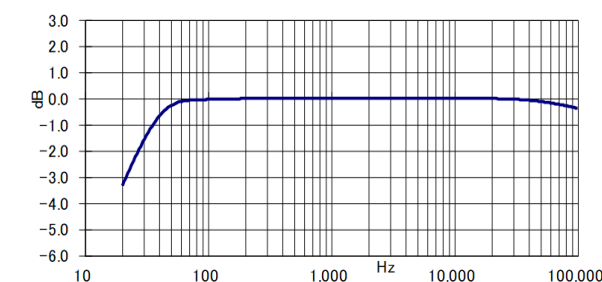
●ネジ端子への接続のしかた



配線材の先端被覆を6~7mmはがしてハンダメッキします

ハンダメッキしたところをネジ端子の奥まで挿し込んでネジ止めします

●周波数特性実測例



●歪率特性実測例

